国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令 和 7 年 6 月 9 日
札 幌 開 発 建 設 部

厚別山水車器械所遺構（あしりべつやますいしゃきかいじょいこう）が推薦産業遺産に認定

滝野すずらん丘陵公園内にある厚別山水車器械所遺構が、令和 7 年 5 月 31 日に産業遺産学会より推薦産業遺産に認定されました。
道内での推薦産業遺産は４件のみとなっており、厚別山水車器械所遺構は道内で５件目の認定となります。

○ 遺産名称
厚別山水車器械所遺構（あしりべつやますいしゃきかいじょいこう）

○ 遺産概要
厚別山水車器械所は、開拓使により 1880 年(明治 13 年)に設置された製材工場です。1890 年（明治 23 年）まで操業され、当時の札幌都市建設に大きく寄与しました。
札幌市中央区の中島公園内にある国の重要文化財「豊平館」の建設にも、厚別山水車器械所で生産した木材が使用されたと伝えられています。その厚別山水車器械所の跡地が、滝野すずらん丘陵公園内に残されています。

○ 推薦産業遺産とは
「保存を必要とする重要な産業遺産のうち、国あるいは地方自治体による文化財指定を受けていないもの」について、産業遺産学会が独自に選定・推薦を行って発表します。それによって世論や関係諸機関の関心を呼び起こし、産業遺産の保存推進に役立てようとするものです（産業遺産学会 HP より）。

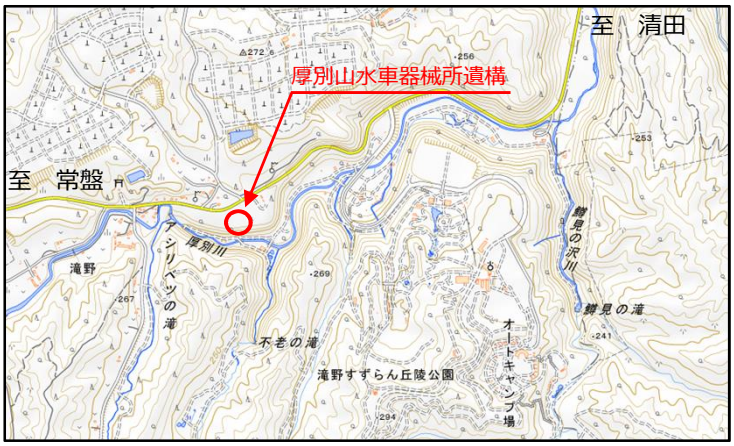
○ 現地見学ツアーについて
国営滝野すずらん丘陵公園事務所では、現地見学ツアーの実施に向け、ガイドルートの検討、案内スタッフの知識向上、遺構の適切な維持管理などを行ってまいります。現地の見学につきましては、現地見学ツアー開始までお待ちください。

※参考として厚別山水車器械所遺構の歴史や経緯等を添付しております。
HP にも厚別山水車器械所遺構について掲載しておりますのでご覧ください。
https://www.takinopark.com/history_kikaijyo/

【問合せ先】国土交通省　北海道開発局　札幌開発建設部
国営滝野すずらん丘陵公園事務所　電話（代表）011-594-2100
所　　長　清水　賢宏
工務課長　本間　　強　　札幌開発建設部ホームページ　https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/

厚別山水車器械所遺構【参考資料】

■厚別山水車器械所遺構　位置図



■厚別山水車器械所遺構（赤枠が遺構範囲）

■厚別山水車器械所遺構これまでの経緯

1879年(明治12年)2月　開拓使により建設が始まる
1880年(明治13年)2月　厚別山水車器械所完成・創業
1890年(明治23年)頃　厚別山水車器械所　事業停止
※明治19年説あり

1983年(昭和58年)7月　滝野すずらん丘陵公園開園(渓流ゾーンのみ)
2008年(平成20年)　滝野すずらん丘陵公園事務所が森の情報館内に厚別山水車器械所の屋内展示を検討
2010年(平成22年) 5月　滝野の森西ゾーン開園。森の情報館内に厚別山水車器械所のパネルを展示
2018年(平成30年)　滝野公園ボランティアである滝野の森クラブ歴史チームが活動開始
厚別山水車器械所遺構の現地見学会を開催
以降継続して調査を実施
2025年(令和7年) 2月　産業遺産学会へ推薦産業遺産に申請
2025年(令和7年) 5月　推薦産業遺産に認定

■厚別山水車器械所写真
（北海道大学附属図書館　北方資料室蔵）

■厚別山水車器械所で生産した木材が使用されたと伝えられている国の重要文化財「豊平館」